

たまちゃんの紙芝居

街頭紙芝居は、テレビの出現で姿を消した思われていますが、大阪には日本で唯一紙芝居の原画を保存している塩崎紙おとぎ紙芝居博物館があり、時代活劇、怪談、喜劇、悲劇、昔話など20万枚以上の紙芝居があります。たまちゃんはその原画を使って、今も大阪の町を中心に日本中で紙芝居を演じ続けています。

路地裏文化、なつかしの紙芝居を拍子木の音とともに自転車に乗せて、あなたの街にはこびます。
現在、塩崎おとぎ紙芝居博物館理事として活躍中。
水あめ、型抜きなどの配布も可能です。



公演演目

昭和20年から30年代に制作された原画を使用。
「恐怖のフランケン」「笑う骸骨」「黄金バット」「お岩しぐれ」「ペチョコちゃん」「ざくろ」「白菊姫物語」など、こどもの年齢層、観客層、リクエストに応じて上演演目をきめます。

公演実績

ルサイコ市主催、日本の伝統文化ベルサイコ祭で海外初公演アメリカ、サンディエゴ、ロサンゼルス、フェニックス、UCLAなどで公演、フィリピン、マニラ、PATA世界会議で公演、ワッハ上方、リーガロイヤルホテルなど有名ホテル、デパート、SC、幼稚園、保育園・小学校・中学校芸術鑑賞、自治体のイベントなど多数出演

出演歴

【TV・ラジオ】 MBS「現代を生きる 街頭紙芝居 いま」
関西テレビ「痛快エブリディ」 MBSラジオ 「ありがとう浜村純です」
NHK 「にんげんMAP」 「こんにちは近畿上方文化アラカルト」 「関西発ふれあいラジオ
話の談話室」 ABC「話の談話室」毎日放送「ちちんぷいぷい」 朝日放送「おはよう朝日です」 など

受賞歴

大阪21世紀協会 大阪すきやねん大賞
大阪 21世紀協会 花の万博 咲いたで賞
大阪 ビデオコンテスト 大阪 やんちゃ大賞奨励賞 など

全国各地、幼稚園、保育園、小学校、自治体などの催しなど依頼を受ければ、どんなところへも紙芝居を広める公演活動をおこなっています。地域の公園にも、自主的に出かけたり、自主公演の企画もおこなっています。